

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひかりの里

目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 10 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	定期的な避難訓練を、家族や、地域の方の参加で実施し、成果が上がっている。今後は、いざという時に慌てないための、常態化した訓練の実施と、非常災害時の備蓄をしていく。	夜間を想定し、目隠しをしたりして、日頃から避難経路の確認と、消火設備の使い方、全職員の連絡方法の確立。電気、ガス、水道が使用不可での場合でも食べられる、非常食の備蓄の準備をしていく。	12ヶ月
2	42	食事を楽しむことの出来る支援	料理上手な職員が作る調理は美味しく、利用者の楽しみの時間である。食事介助の職員以外で、利用者と一緒に食事が出来る場合は、同じテーブルに座り、楽しい会話をしながら、食欲増進に繋げる食事介助を目指していく。	楽しい食事の時間の中から、利用者の大切なことを聴いたり、今まで気づかなかったことを発見したり出来る、時間でもあるので、利用者職員と一緒に食事をし、検食カード等に、食事の内容等を記入し、調理の充実を目指していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。